

令和6年度 新型コロナワクチン接種の実施について

新型コロナワクチンの特例臨時接種は令和6年3月31日で終了しました。

令和6年10月からは予防接種法に基づき、新型コロナワクチンの定期接種を次のとおり実施します。定期接種の実施期間外や一部を除く65歳未満の方は、任意接種となり全額自己負担となります。

定期接種をご希望の方はこの説明を必ずご覧のうえ、接種を受けてください。

1. 対象となる人

① 接種日に満65歳以上の方

② 接種日に60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能、これらのいずれかの障害として、**障害等級1級相当の障害のある方**

2. 接種ワクチンと回数 新型コロナワクチンを1回接種、筋肉内注射

3. 自己負担 3,000円（生活保護受給者は免除券提出で無料）

4. 実施機関 浅井医院 及び 旭川市内実施医療機関（裏面）

（実施医療機関以外で接種を受ける場合は、費用の全額が自己負担となり、町の助成は受けられません。）

5. 申込方法 直接、実施医療機関へお申し込みください（予診票は各医療機関にあります）

6. 持ち物 ・本人確認できるもの（健康保険証、運転免許証など）
・接種料金（生活保護受給者は免除券を提出しないと有料になります）
・対象の②に該当の方は、身体障害者手帳

新型コロナワクチン接種は、強制接種ではなく、ご本人の意思で接種していただくものです。接種を希望されない方は、無理に接種する必要はありません。

<問い合わせ先> 鷹栖町 健康福祉課 保健推進係
電話 0166-87-2112（内線 508）

鷹栖町独自対応

以下の方を対象に新型コロナワクチン接種費用の半額助成を行います。

① 生後6か月から中学3年生の方

② 妊婦の方

助成は申請が必要になります。詳しくは鷹栖町ホームページをご覧ください。

<問い合わせ先>

鷹栖町 健康福祉課 子育て支援係
電話 0166-87-2112（内線 502）

鷹栖町新型コロナ
ワクチン詳細ページ▶



＜新型コロナワクチンの接種について＞

1. 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症の潜伏期間は、オミクロン株になってからはほとんどが2～3日と短く、症状は発熱や咳、喉の痛みなどです。基本的な感染予防対策は、手洗いや十分な換気、状況に応じたマスクの着用などです。

2. 新型コロナワクチンの有効性

新型コロナワクチンは高齢者の発病を阻止する効果や、重症化予防に有効であることが確認されています。60歳以上において、入院予防効果が44.7%であると国内での報告*があります。

予防接種を受けてから新型コロナウイルス感染症の抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、少なくとも効果は半年程度とされています。

*厚生労働省ホームページより、XBB対応型1価ワクチン接種の入院予防効果より

3. 新型コロナワクチン接種の副反応

①注射部位の痛み、倦怠感、熱感、頭痛、発熱、腫れ等、様々な症状を認めることがありますが、通常数日以内で消失します。

②まれに接種直後から数日中に、紅斑、接種部位の痛み等があらわれることがあります。

③重大な副反応として、まれにショックやアナフィラキシー、心筋炎や心膜炎等があらわれることがあり、そのほとんどが接種後30分以内です。

④その他の副反応として、IgA腎症、末梢神経障害、薬疹、急性心筋炎、リウマチ性多発筋痛炎、ギランバレー症候群等があらわれる報告がされています。

4. 予防接種を受けることができない人

① 明らかに発熱のある人（37.5℃以上の発熱）

② 重い急性の病気にかかっている人

③ 過去に本剤の成分の接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある人

アナフィラキシーとは接種後概ね30分以内におきるひどいアレルギー反応です。発汗、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続き、血圧が下がる激しい全身反応です。

④ 医師が接種不相当と判断した人

5. 予防接種を受けるに際し、医師へ相談が必要な人

① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人

② 予防接種を受けたとき、2日以内に発熱のあった人及び全身発疹等のアレルギーを疑う症状があった人

③ 今までにけいれんを起こしたことがある人

④ 過去に本人や近親者で、免疫不全の診断がなされたことのある人

6. 予防接種を受けた後の注意

① 予防接種を受けた後24時間は健康状態の変化に注意してください。特に接種直後の30分は急激な健康状態の変化が起こることがありますので、医師や医療機関とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。

② 接種当日に入浴は差し支えありませんが、注射をした部位をこすらないでください。

③ 接種当日は過度な運動、多量の飲酒はしないでください。

④ 万一、じんま疹・呼吸困難・高熱・けいれん・低血圧などの症状が現れた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

⑤ この予防接種による重篤な副反応が発生し、厚生労働大臣が認めた場合には、医療費や医療手当等、予防接種法による一定の給付を受けられる場合があります。